

1. プログラム名：脳外科救急（脳卒中・頭部外傷）速成コース

2. 指導責任者：原岡 襄（脳神経外科教授）

3. 主な指導者：三木保（脳神経外科助教授）、秋元治朗（脳神経外科講師）

4. プログラムの概要（目標、特色など）

どの医師においてもプライマリケアの重要性は論を待たないところである。様々な急性疾患で中で頻度も高く、緊急性、判断力が問われるのが脳卒中・頭部外傷である。心疾患とこれらの脳外科救急疾患の診療力を極めることは医師として、極めて価値のあるまたレベルの高い医療を提供できることを意味する。一般的なプライマリケアの習得では意識障害を中心としたこの分野は弱点とされている。内科、外科を問わずこのコースを研修医の若い時期に習得しておくことは医師人生において絶大な武器になることは間違いない。

5. 年度毎の研修内容（例）注：4年目以降は、希望に応じた研修が行えます。。

\*1年次

- 1) 神経学的診察法のマスター
- 2) 全身管理法の習得
- 3) 術前術後管理の習得
- 4) 神経放射線学的検査法の技術と読影法の習得
- 5) 脳卒中・頭部外傷を主治医として診療に当たる。
- 6) 一般的外科的処置、腰椎穿刺、CVライン設置法、気管切開法の習得
- 7) 脳神経外科手術；穿頭術（脳室ドレナージ、慢性硬膜下血腫など）の習得、すべての手術の第2助手
- 8) 学会発表：地方会、院内研究会
- 9) 麻酔科研修（2ヶ月）にて麻酔全身管理の習得

\*23年次

- 1) 脳卒中・頭部外傷を筆頭主治医として診療に当たる。
- 2) 脳神経外科手術：基本的開頭術、頭部外傷全般、  
高血圧性皮質下出血などの習得  
major operation の第1助手
- 3) 国内外学会発表

6. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8 ~ 9	検討会 抄読会				検討会	退院カンファ
9 ~ 12	手術	病棟回診	手術	病棟回診	手術	病棟回診
13 - 17	病棟回診	検査	病棟回診	検査	病棟回診	セルフアセスメント
17 - 20	検討会 (週1回い ずれかの日 に当直)	院内研修会				

## 7. 取得できる資格

- 1) 医学博士(個々に応じて)
- 2) 日本脳神経外科専門医(後期研修4年以降)
- 3) 日本脳卒中学会専門医(後期研修5年以降)
- 4) 日本脳神経血管内治療学会専門医(後期研修5年以降)
- 5) 日本神経内視鏡認定医(後期研修5年以降)

## 8. プログラム終了の評価・認定方法

上記7に掲げた専門医を取得することによってプログラム終了と評価します。

## 9. 処遇・待遇

- ・ 初期の3年間は後期研修医として月額20万円が支給されます。当直を行った場合には1回につき9800円が支給されます。
- ・ 週1日(半日ずつであれば2日)の院外勤務が可能です。これに対する給与は勤務先から支給されます。
- ・ 健康保険, 厚生年金, 労災保険に加入します。
- ・ 4年目以降の処遇に関しては, 病院の規定に従います。

## 10. その他

国民病の脳卒中診療を確実にマスターすることは内科にとって最大に武器になります。